

就活の軸。自分が就職活動をしていた30年以上前に、この言葉があったかは記憶にない。きっと万事が不真面目な学生だったせいで知らなかっただけだろう。就職先を決める上で、大切にしていること、譲れない一線など自身の基準を指す言葉で、たとえば「1つの業界に絞って活動する」「若手のうちから責任ある仕事に携われる」「福利厚生を重視」など、学生個々にいろいろのようだ。

卒業生の多くが就活を経験済みという時期にタイムリーな話ではないかもしれないが、「軸って何?」「自分の軸が分からない」という学生に少しヒントになるかと思ひ、数年前の女子学生応援セミナー（女性白門会・中央大学キャリアセンター共催）で聞き、印象に残っている4年生（当時）の話を紹介したい。

この女子学生は自分の軸がわからずに悩んでいた。そこで、自分がこれまでやってきたことを書きだして、友人など身近な人に見てもらい、「なぜ?」と何度も聞き返してもらおうようにしたという。「これをひたすら繰り返すと、自分がどういう考えでここまで歩んできたか、どういう結果を得たかが明確になり、軸もわかってくる」と説明していた。

「彼を知り己を^{あやう}知れば百戦殆からず」

古代中国のことわざを思い出した。就活はもちろん勝ち負けではないが、まずは己を知ること（自己分析）から始めるのが常道だ。これは社会人になってからの心構えとしても役立つだろう。

それぞれのキャンパスを巣立っていく皆さん、ご卒業おめでとうございます。

（編集長 北村 豊）

【STAFF】

■取材協力：学事部、各学部事務室、大学院事務室、学生部、ボランティアセンター、中央図書館、国際センター、入学センター、キャリアセンター、校友会、経理研究所、学員会ほか

■写真提供&協力：「中大スポーツ」新聞部

■学生記者：近藤陽太（経済4）、堪山泰瞬（商4）、島田莉帆（文4）、影原風音（文4）、海老澤英奈（文4）、倉塚凜々子（国際経営4）、白井美有（国際経営4）、谷井花蓮（総合政策4）、大山凜子（法4）、小保方愛香（法3）、高橋璃々（経済3）、合志瑠夏（経済3）、酒井優実（商3）、吉田未来（理工3）、三浦菜々花（国際経営3）、鈴木萌結（国際経営3）、北村結（総合政策3）、小西結音（総合政策3）、上原希成（国際情報3）、金岡千聖（商2）、池田さくら（文2）、高橋来佳（文2）、木村結（法2）、渡邊弘将（国際経営2）、小林莉子（国際情報2）、松岡響紀（経済1）、渡木彩文（文1）、九十歩胡春（文1）、荒田智海（文1）＝順不同

■制作協力：株式会社トリッド

**Web版
「HAKUMON Chuo」は
こちらから閲覧
できます。**




**NEXT
ISSUE**

「HAKUMON Chuo」2025 春号
No.285 2025年4月2日発行予定

2025早春号 No.284

2025(令和7)年3月23日発行

発行：中央大学広報室
〒192-0393
東京都八王子市東中野 742-1



“学生記者”になりませんか?

Would you be
a student reporter?



〈申し込み・問い合わせ〉
中央大学広報室
「HAKUMON Chuo」編集担当
E-mail: hc-grp@g.chuo-u.ac.jp

**「HAKUMON Chuo」は
中大生が取材・編集する大学広報誌です。
現在、学部在学学生を対象に学生記者を募集しています。**

メリット
1

元新聞記者のプロや先輩の学生記者に、取材方法・原稿の書き方や、添削指導などを受けることができます。将来どんなキャリアを目指すにも文章力は重要です!

メリット
2

取材を通して、さまざまな人に会うことができます。出会いの数ほど思い出ができることでしょう。

メリット
3

記者活動を通して、コミュニケーション能力など社会に出て活躍するための基礎力を身につけることができます。



プロ野球ドラフト会議で指名された硬式野球部選手の記者会見＝2023年10月26日、多摩キャンパス